

新潟市土壌診断事業実施要綱

(目 的)

第1条 この事業は、農作物等の栽培指導の一環として、作物栽培の基本となる「土壌」の分析及び診断を行い、適正な施肥管理を推進することによる安定生産と品質向上を図るとともに、過剰施肥を防止することにより、環境への負荷軽減を図ることを目的とする。

(実施主体)

第2条 この事業の実施主体は、新潟市とする。

(対象者)

第3条 この事業の対象者は、新潟市に居住し、農業を営むものとする。

(分析項目)

第4条 土壌分析項目は、別表1に掲げる項目とする。

(分析・診断の依頼)

第5条 この事業の実施を希望する者（以下「依頼者」という。）は、市長が別に定める方法で採取・調整した土壌を土壌分析依頼書（別記様式第1号）及び採取土の状況調査票とともに、市長に提出しなければならない。

(結果の通知)

第6条 市長は分析結果を土壌分析の結果について（別記様式第2号）及び土壌診断書により、依頼者に通知するものとする。

(依頼者負担)

第7条 分析に必要な試薬等の実費は依頼者負担とし、依頼者は別表2に掲げる額を実費相当額として、新潟市に支払うものとする。

(関係機関との連携)

第8条 市長は、この事業の実施にあたり、新潟県や農業協同組合等の関係機関と十分連携を保ち、事業の円滑な実施に務めるものとする。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

平成17年4月1日一部改正。

平成25年4月1日一部改正。

平成27年4月1日一部改正。

令和 元年5月1日一部改正。

別表 1

分 析 項 目

水田土壌	水田以外の土壌
p H	p H
E C	E C
りん酸吸収係数	りん酸吸収係数
有効態りん酸（トルオグ法）	有効態りん酸（トルオグ法）
C E C（陽イオン交換容量）	C E C（陽イオン交換容量）
交換性石灰	交換性石灰
交換性苦土	交換性苦土
交換性加里	交換性加里
腐植	腐植
硝酸態窒素	硝酸態窒素
アンモニア態窒素	アンモニア態窒素
有効態けい酸	
遊離酸化鉄	
以上 1 3 項目	以上 1 1 項目

別表 2

実費相当額

水田土壌	水田以外の土壌
1 検体につき 8 0 0 円	1 検体につき 7 0 0 円

土 壌 分 析 依 頼 書

(あて先) 農業活性化研究センター所長

年 月 日

下記のとおり土壌分析を依頼します。

依頼者	住所又は所在地	〒 新潟市				
	氏 名 又 は 名称及び代表者					
	連 絡 先	TEL	FAX			
	所 属 農 協					
検 体 数		水 田 土 壤		検体	水田以外の土壌	検体
検体採取場所						

注1 太線枠内のみ記入してください。

注2 検体採取場所は圃場名等を記入してください。

決裁	所 長	所長補佐	係 長	担 当	担 当

処理欄	受 付 日	年 月 日	受 付 番 号	新農研セA第 号	
	通知書送付	年 月 日			
	実 費 相 当 額				
	区 分	単 価	検 体 数	金 額	
	水 田 土 壤	8 0 0 円	検体	円	
	水田以外の土壌	7 0 0 円	検体	円	
	合 計		検体	円	
	備考：				領収印

採取土の状況調査票

新規 ・ 継続

申し込み日 年 月 日

氏名				試料の番号		農協名	
住所		<div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>					
採取箇所		露地 ・ 施設（設置 年）			採取日	年 月 日	
診断の目的		施肥設計・ 生育不良・ その他（ ）					
土の性質		砂質・ 砂質がやや多い・ 中間・ 粘土質がやや多い・ 粘土質					
肥料のもち		良過ぎる ・ 良い ・ 普通 ・ 悪い ・ 悪過ぎる					
排水性		良過ぎる ・ 良い ・ 普通 ・ 悪い ・ 悪過ぎる					
前作について	作物名				面積（㎡）		
	施肥量	基肥	N－P－K＝		実際の施用量（kg）		
		追肥	N－P－K＝		実際の施用量（kg）		
	生育状況		非常に良い・ 良い・ 普通・ 悪い・ 非常に悪い				
	病虫害被害		なし ・ あり		病虫害名		
次作名							
※現作について	作物名						
	施肥量	基肥					
		追肥					
	生育状況		非常に良い・ 良い・ 普通・ 悪い・ 非常に悪い				
	病虫害被害		なし ・ あり		病虫害名		

- ・ できるだけ詳しく記入してください。
 - ・ 1箇所圃場について継続して土壌診断を申し込まれる予定の方は、あらかじめ圃場に通し番号を振り、その番号を「試料の番号」として記入してください。
- ※ 現在、分析対象の圃場に作物が植わっている方のみ「現作について」記入してください。

新農研セ A 第 号の 2

年 月 日

様

新潟市農業活性化研究センター所長

土壌分析の結果について（通知）

年 月 日付で下記のとおり依頼のありました土壌分析の結果を、別紙「土壌診断書」
のとおり通知します。

記

検 体 数	水 田 土 壌	検 体	水田以外の土壌	検 体
-------	---------	-----	---------	-----

分析方法

項目	分析法
p H (H ₂ O)	ガラス電極法
E C (電気伝導度)	交流二電極式
りん酸吸収係数	バナドモリブデン酸法
有効態りん酸（トルオグ法）	マーフィー・ライリー法
C E C (陽イオン交換容量)	インドフェノール法
交換性石灰	オルトクレゾールフタレインコンプレキソン法
交換性苦土	キシリジブルー 1 法
交換性加里	炎光光度法
腐植	熊田変法
硝酸態窒素	アルカリ還元・ジアゾ色素法
アンモニア態窒素	インドフェノール法
有効態けい酸	アスコルビン酸還元・モリブデンブルー法
遊離酸化鉄	Ｏ－フェナントロリン法

以上